



4 試験結果

結果を表-1に示した。

通過水は、表-1の分析試験項目について、水質基準に関する省令(平成15年厚生労働省令第101号)に掲げられた項目に適合であった。

表-1-1 通過水の水質試験結果

測定項目	基準	結果	定量下限
一般細菌	集落数100以下/mL	30以下/mL	—
大腸菌	検出されない	検出せず	—
カドミウム及びその化合物	0.003 mg/L以下	検出せず	0.0003 mg/L
水銀及びその化合物	0.0005 mg/L以下	検出せず	0.00005 mg/L
セレン及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
鉛及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
ヒ素及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
六価クロム化合物	0.05 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L
亜硝酸態窒素	0.04 mg/L以下	検出せず	0.004 mg/L
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	1.0 mg/L以下	検出せず	0.1 mg/L
フッ素及びその化合物	0.8 mg/L以下	検出せず	0.05 mg/L
ホウ素及びその化合物	1.0 mg/L以下	検出せず	0.1 mg/L
四塩化炭素	0.002 mg/L以下	検出せず	0.0002 mg/L
1,4-ジオキサン	0.05 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
トリクロロエチレン	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
ベンゼン	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
塩素酸	0.6 mg/L以下	検出せず	0.06 mg/L
クロロ酢酸	0.02 mg/L以下	検出せず	0.002 mg/L
クロロホルム	0.06 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
ジクロロ酢酸	0.03 mg/L以下	検出せず	0.003 mg/L
ジブロモクロロメタン	0.1 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
臭素酸	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
総トリハロメタン*	0.1 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L

* クロロホルム、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン及びプロモホルムのそれぞれの濃度の総和



表-1-2 通過水の水質試験結果

測定項目	基準	結果	定量下限
トリクロロ酢酸	0.03 mg/L以下	検出せず	0.003 mg/L
ブロモジクロロメタン	0.03 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
ブロモホルム	0.09 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
ホルムアルデヒド	0.08 mg/L以下	検出せず	0.008 mg/L
亜鉛及びその化合物	1.0 mg/L以下	検出せず	0.01 mg/L
アルミニウム及びその化合物	0.2 mg/L以下	検出せず	0.01 mg/L
鉄及びその化合物	0.3 mg/L以下	検出せず	0.03 mg/L
銅及びその化合物	1.0 mg/L以下	検出せず	0.01 mg/L
ナトリウム及びその化合物	200 mg/L以下	1.7 mg/L	0.1 mg/L
マンガン及びその化合物	0.05 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L
塩化物イオン	200 mg/L以下	3.5 mg/L	1.0 mg/L
カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	300 mg/L以下	5.6 mg/L	5.0 mg/L
蒸発残留物	500 mg/L以下	20 mg/L以下	20 mg/L
陰イオン界面活性剤	0.2 mg/L以下	検出せず	0.02 mg/L
ジオスミン	0.00001 mg/L以下	検出せず	0.000001 mg/L
2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg/L以下	検出せず	0.000001 mg/L
非イオン界面活性剤	0.02 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L
フェノール類	0.005 mg/L以下	検出せず	0.0005 mg/L
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3 mg/L以下	検出せず	0.3 mg/L
pH値	5.3以上8.6以下	7.2(19℃)	—
味	異常でない	異常なし	—
臭気	異常でない	異常なし	—
色度	5度以下	1度以下	—
濁度	2度以下	1度以下	—

硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 除去性能試験

※JIS S 3242 の試験方法に準拠にて

試験結果報告書

No. X2004061001 (1/2)

株式会社フォレストホームサービス 殿

受付日 2020年 4月 6日

発行日 2020年 4月23日

厚生労働大臣登録 20条水質検査機関 第212号

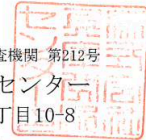
株式会社 兵庫分析センター

姫路市広畑区正門通4丁目10-8

TEL (079) 236-9446 (代)

環境計量士 八木 昭則

(濃度 第2805号)



貴依頼による試験の結果を次の通り報告します。

1. 試験内容

硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素除去性能試験

2. 試験対象装置

WS300

3. 試験方法及び試験条件

- JIS S 3242 : 2019 「家庭用逆浸透膜浄水器」 附属書C 準用
- 分析方法 : イオンクロマトグラフ法
- 対象装置は常時受圧形の透過水タンク式逆浸透膜浄水器であり、ポンプを内蔵した装置である。対象装置においては、全てのフィルターを取り付けた状態で試験を行った。
原水の調製は、規定の水を塩化ナトリウム濃度を $750 \pm 40 \text{mg/L}$ とし、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 $10 \pm 3 \text{mg/L}$ (硝酸態窒素 : 27mg/L 、亜硝酸態窒素 : 3mg/L) とした。
通水条件は、初期動水圧 $0.35 \pm 0.01 \text{MPa}$ にて原水を通水し、各採水ポイントにて採水を実施し、測定を行った。

4. 試験結果

経過時間 (h)	水温 (°C)	分析項目	原水 (mg/L)	透過水 (mg/L)	除去率 (%)
4	18.5	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	28.0	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	25.1	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	2.9	<0.004	-
8	18.5	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	28.0	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	25.1	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	2.9	<0.004	-
24	18.3	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	27.7	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	24.9	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	2.8	<0.004	-
28	18.3	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	27.7	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	24.9	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	2.8	<0.004	-
32	18.2	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	27.7	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	24.9	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	2.8	<0.004	-
48	18.0	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	28.1	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	25.3	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	2.8	<0.004	-
52	18.5	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	28.1	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	25.3	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	2.8	<0.004	-

硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 除去性能試験

※JIS S 3242 の試験方法に準拠にて

No. X2004061001 (2/2)

経過時間 (h)	水温 (°C)	分析項目	原水 (mg/L)	透過水 (mg/L)	除去率 (%)
56	18.6	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	28.1	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	25.3	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	2.8	<0.004	-
72	18.5	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	30.3	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	27.3	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	3.0	<0.004	-
76	18.2	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	30.3	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	27.3	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	3.0	<0.004	-
80	18.6	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	28.8	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	25.8	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	3.0	<0.004	-
144	18.6	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	29.0	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	26.0	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	3.0	<0.004	-
148	18.8	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	29.0	<0.1	99以上
		硝酸態窒素	26.0	<0.1	-
		亜硝酸態窒素	3.0	<0.004	-

以上

W A C O M S

PFOS及びPFOA除去性能試験(アンダーシンク縦型)

※ JWPAS B.210 の試験方法に準拠にて

試験結果報告書

No. X2405070101

株式会社フォレストホームサービス

受付日 2024年 5月 7日

発行日 2024年 5月30日

厚生労働大臣 登録 20条水質検査機関 第212号
株式会社 兵庫分析センター
姫路市広畑区正門通4丁目10-8
TEL (079) 236-9446 (代)
環境計量士 八木 昭則
(濃度 第2805号)

貴依頼による試験の結果を次の通り報告します。

1. 試験内容

ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)除去性能試験

2. 試験対象装置

アンダーシンク縦型「WS300-U1T」

3. 試験方法及び試験条件

- JWPAS B.210「浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準」(一般社団法人 浄水器協会)
- 分析方法: 固相抽出-液体クロマトグラフ質量分析法

対象装置は連続式の稼働時受圧形逆浸透膜浄水器であり、ポンプを内蔵した装置である。

原水の調製は、水道水(兵庫県姫路市)を活性炭(株)ダレ PACE00-400)及び中空糸膜(三菱ケミカル・クリンスイ(株)MP02-1)によってTCCを0.5 mg/L以下とした後、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)をそれぞれ0.000025±0.000005 mg/Lの濃度に設定し、水温を20±3℃とした。

通水条件は、動水圧0.1MPaにて原水を通水し、10分後の原水及びろ過水の測定を行った。

4. 試験結果

通水時間 (分)	水温 (℃)	分析項目	原水 (mg/L)	ろ過水 (mg/L)	除去率 (%)
10	20	PFOS及びPFOA	0.000051	<0.000001	98以上
		PFOS	0.000025	<0.000001	-
		PFOA	0.000026	<0.000001	-

ろ過流量: 0.26L/分

以上

PFOS及びPFOA除去性能試験(アンダーシンク横型)

※ JWPAS B.210 の試験方法に準拠にて

試験結果報告書

No. X2405070102

株式会社フォレストホームサービス

受付日 2024年 5月 7日

発行日 2024年 5月30日

厚生労働大臣登録 20条水質検査機関 第212号
株式会社 兵庫分析センター
姫路市広畑区正門通4丁目10-8
TEL (079) 236-9446 (代)
環境計量士 八木 昭則
(濃度 第2805号)

貴依頼による試験の結果を次の通り報告します。

1. 試験内容

ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)除去性能試験

2. 試験対象装置

アンダーシンク横型「WS300-U1」

3. 試験方法及び試験条件

- JWPAS B.210「浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準」(一般社団法人 浄水器協会)
- 分析方法: 固相抽出-液体クロマトグラフ質量分析法

対象装置は連続式の稼働時受圧形逆浸透膜浄水器であり、ポンプを内蔵した装置である。

原水の調製は、水道水(兵庫県姫路市)を活性炭(株式会社 ラレ PAC500-400)及び中空糸膜(三菱ケミカル・クリンスイ(株) MP02-1)によってTOCを0.5 mg/L以下とした後、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)をそれぞれ0.000025±0.000005 mg/Lの濃度に設定し、水温を20±3℃とした。

通水条件は、動水圧0.1MPaにて原水を通水し、10分後の原水及びろ過水の測定を行った。

4. 試験結果

通水時間 (分)	水温 (℃)	分析項目	原水 (mg/L)	ろ過水 (mg/L)	除去率 (%)
10	20	PFOS及びPFOA	0.000051	<0.000001	98以上
		PFOS	0.000025	<0.000001	-
		PFOA	0.000026	<0.000001	-

ろ過流量: 0.26L/分

以上

PFOS及びPFOA除去性能試験(据え置き型)

※ JWPAS B.210 の試験方法に準拠にて

試験結果報告書

No. X2411060101

株式会社フォレストホームサービス

受付日 2024年11月 6日

発行日 2024年11月26日

厚生労働大臣登録 20条水質検査機関 第212号
株式会社 兵庫分析センター
姫路市広畑区正門通4丁目10-8
TEL(079)236-9446(代)
環境計量士 八木 昭則
(濃度 第2805号)

貴依頼による試験の結果を次の通り報告します。

1. 試験内容

ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)除去性能試験

2. 試験対象装置

WS300

3. 試験方法及び試験条件

- JWPAS B.210「浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準」(一般社団法人 浄水器協会)
- 分析方法: 固相抽出-液体クロマトグラフ質量分析法
- 対象装置は連続式の稼働時受圧形逆浸透膜浄水器であり、ポンプを内蔵した装置である。
原水の調製は、水道水(兵庫県姫路市)を活性炭(株クラレ P/C500-400)及び中空糸膜(三菱ケミカル・クリンスイ(株) MP02-1)によってTOCを0.5 mg/L以下とし、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)をそれぞれ0.000025±0.000005 mg/Lの濃度 に設定し、水温を20±3℃とした。
通水条件は、動水圧0.1MPaにて原水を通水し、10分後の原水及びろ過水の測定を行った。

4. 試験結果

通水時間 (分)	水温 (℃)	分析項目	原水 (mg/L)	ろ過水 (mg/L)	除去率 (%)
10	20	PFOS及びPFOA	0.000055	<0.000001	98以上
		PFOS	0.000028	<0.000001	-
		PFOA	0.000027	<0.000001	-

以上

ひ素（五価）除去性能試験

※JIS S 3242 の試験方法に準拠にて

試験結果報告書

No. X2004061002

株式会社フォレストホームサービス 殿

受付日 2020年 4月 6日

発行日 2020年 4月28日

厚生労働大臣登録 20条水質検査機関 第212号

株式会社 兵庫分析センター

姫路市広畑区正門通4丁目10-8

TEL(079)236-9446(代)

環境計量士 八木 昭則

(濃度 第2805号)

貴依頼による試験の結果を次の通り報告します。

1. 試験内容

ひ素（五価）除去性能試験

2. 試験対象装置

WS300

3. 試験方法及び試験条件

- ・ JIS S 3242 : 2019 「家庭用逆浸透膜浄水器」附属書B準用
- ・ 分析方法 : ICP質量分析計
- ・ 対象装置は常時受圧形の透過水タンク式逆浸透膜浄水器であり、ポンプを内蔵した装置である。対象装置においては、全てのフィルターを取り付けた状態で試験を行った。
原水の調製は、規定の水を塩化ナトリウム濃度を200mg/Lとし、ひ素（五価）0.30±0.03mg/Lとした。
通水条件は、初期動水圧0.35±0.018MPaにて原水を通水し、各採水ポイントにて採水を実施し、測定を行った。

4. 試験結果

経過時間 (h)	水温 (℃)	ひ素（五価）		除去率 (%)
		原水 (mg/L)	透過水 (mg/L)	
4	19.4	0.32	<0.001	99以上
8	19.8	0.31	<0.001	99以上
24	19.2	0.32	<0.001	99以上
28	19.0	0.32	<0.001	99以上
32	19.5	0.32	<0.001	99以上
48	19.2	0.31	<0.001	99以上
52	18.8	0.31	<0.001	99以上
56	18.8	0.31	<0.001	99以上
72	19.0	0.30	<0.001	99以上
76	19.1	0.30	<0.001	99以上
80	19.2	0.30	<0.001	99以上
144	18.7	0.31	0.004	98.7
148	18.7	0.31	0.004	98.7

以上